



おくすり通信

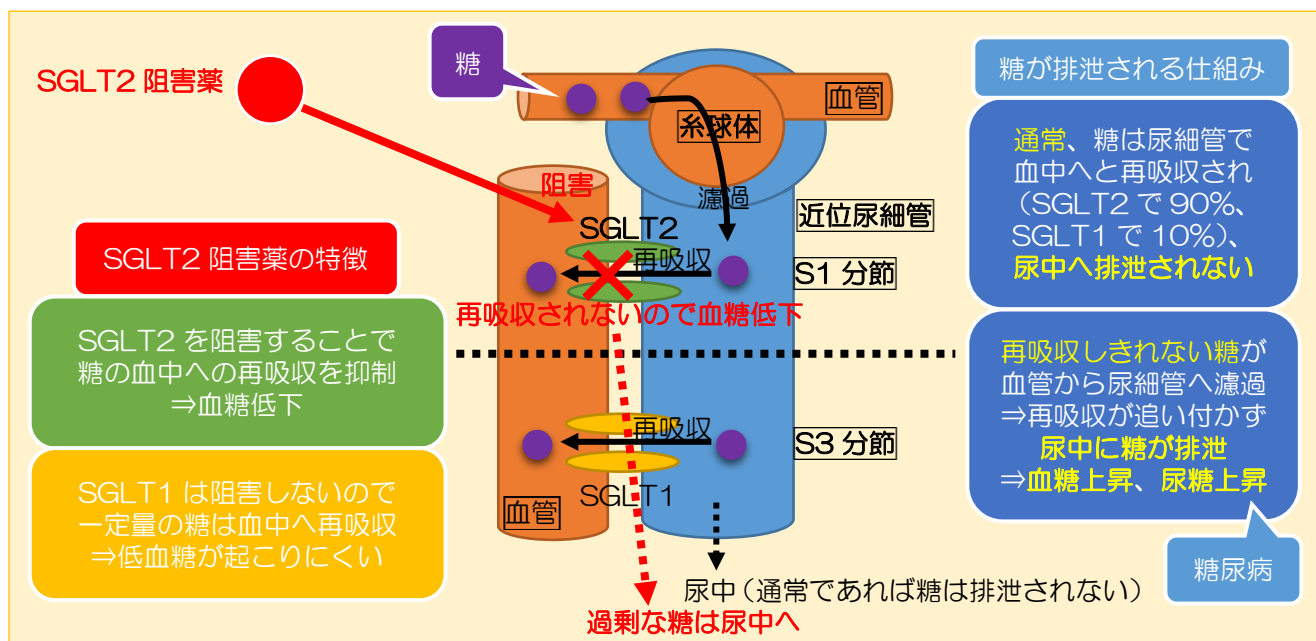
No. 21 糖尿病 糖の排泄

こんにちは、薬剤科です。これまで糖尿病について、糖の吸収から始まり、インスリンの分泌・作用に関わる薬剤を紹介してきました。近年、異なる機序の薬が発売されましたので、それについて触れていきます。

《糖と排泄》

血中に吸収された糖やその他の血液中に溶け込んでいる物質は、腎臓で糸球体と呼ばれる毛細血管の網で濾過されます。網目を通れなかったものは再び体内を循環し、通ったものは尿細管へと入ります。ほとんどの物質は尿細管で再吸収されて体内へ戻り、体に不必要なものはそのまま尿として体外へ排出されます。

糖は糸球体で尿細管へ濾過された後、近位尿細管起始部（S1分節）で約90%がSGLT2により再吸収されます。さらにその先にある近位尿細管遠位部（S3分節）で残り約10%がSGLT1により再吸収され、濾過された糖はすべて再吸収されて体内のエネルギーとして利用されます。しかし、再吸収の限度を超える量の糖が濾過されてくると、尿細管で再吸収しきれずに糖が尿中に排泄されてしまいます。「糖尿病」という病名は、この尿中に糖が排泄されることに由来します。



《SGLT2 阻害薬（代表的な商品名：スーグラ）》

SGLT2 阻害薬は糖の排泄に関与する糖尿病治療薬として最近発売されるようになりました。S1分節にある **SGLT2 を阻害することで糖の再吸収を抑制**し、血糖の上昇を抑えます。SGLT のサブタイプ2 に選択的に作用するため、この薬剤を使用中でも SGLT1 での糖の再吸収は通常通りに行われます。そのため、低血糖を起こしにくいとされています。一方で、SGLT2 阻害薬を服用すると過剰な糖が尿中に排泄されるため、尿量が増加します。それによる脱水の副作用が報告されているので、こまめに水分の摂るようにし、めまいや体がだるいなどの症状に注意が必要です。

同じ糖尿病の治療薬でも種類ごとに特徴があります。それに伴って注意点も異なるので、ご自分の飲まれている薬がどんな特徴を持っているのか知っておきましょう。

そのほか気になる点がございましたら、お気軽にご相談ください。